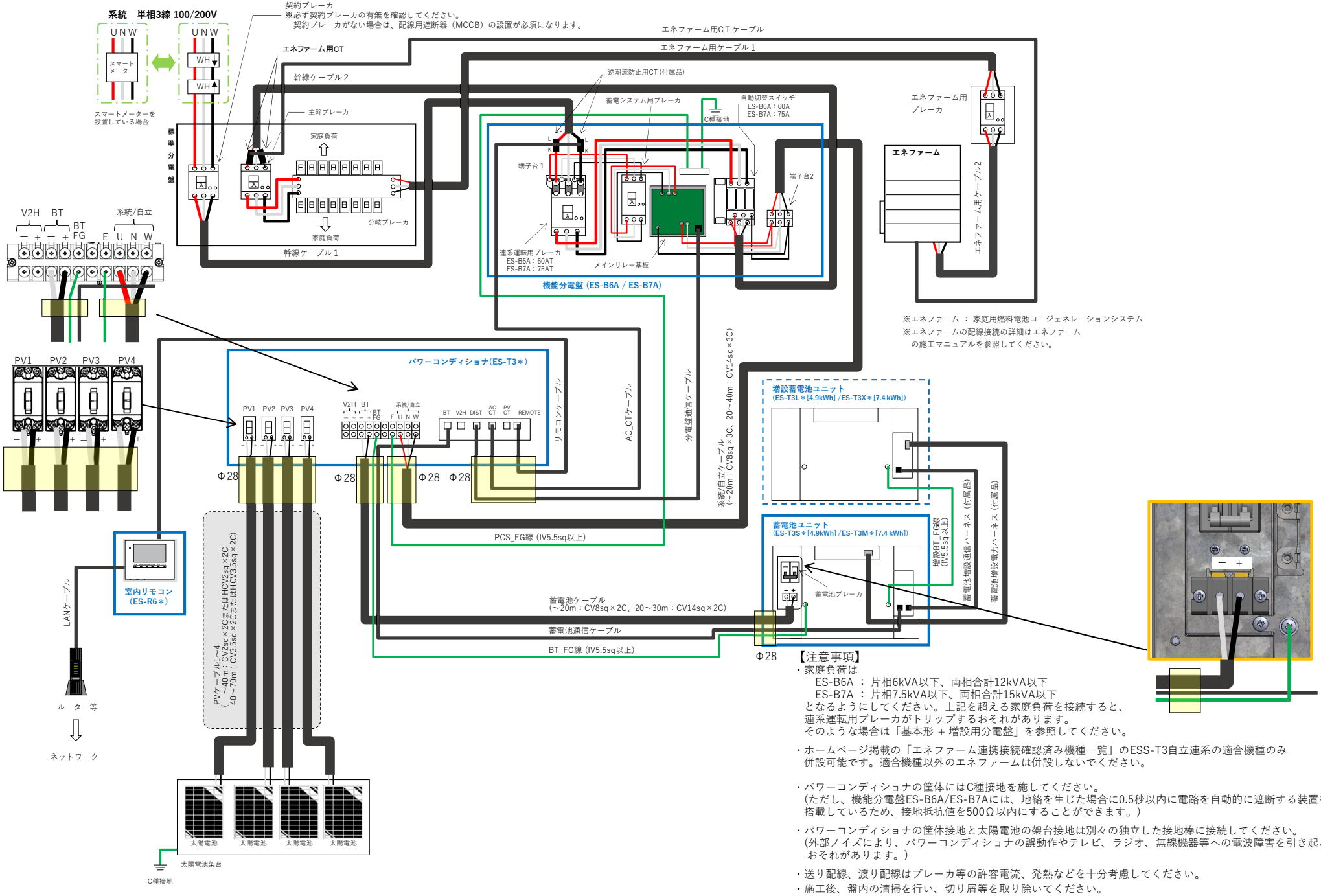
【ESS-T3シリーズ】 基本形 + エネファーム

:PF管コネクタ

※近くのΦの数値はPF管の穴径を示す。



【注意事項】

・家庭負荷は
　ES-B6A ： 片相6kVA以下、両相合計12kVA以下
　ES-B7A ： 片相7.5kVA以下、両相合計15kVA以下
となるようにしてください。上記を超える家庭負荷を接続すると、
連系運転用ブレーカがトリップするおそれがあります。
そのような場合は「基本形 + 増設用分電盤」を参照してください。

・ホームページ掲載の「エネファーム連携接続確認済み機種一覧」のESS-T3自立連系の適合機種のみ
併設可能です。適合機種以外のエネファームは併設しないでください。

・パワーコンディショナの筐体にはC種接地を施してください。
（ただし、機能分電盤ES-B6A/ES-B7Aには、地絡を生じた場合に0.5秒以内に電路を自動的に遮断する装置を
搭載しているため、接地抵抗値を500Ω以内にすることができます。）

・パワーコンディショナの筐体接地と太陽電池の架台接地は別々の独立した接地棒に接続してください。
（外部ノイズにより、パワーコンディショナの誤動作やテレビ、ラジオ、無線機器等への電波障害を引き起こす
おそれがあります。）

・送り配線、渡り配線はブレーカ等の許容電流、発熱などを十分考慮してください。

・施工後、盤内の清掃を行い、切り屑等を取り除いてください。

・AC_CTは、設置後に「L」の表記が電力会社側になっていることを確認してください。

・最新の情報は、ニチコンホームページをご確認ください。